

<概要>

- １２月２４日、選挙管理委員会（ＣＮＥ）は、国民党ナスリ・アスフラ候補の当選を発表した。これに対して与党リブレ党候補及び僅差で敗れることになった自由党候補は選挙不正や無効を訴え、選挙結果を認めない意向をそれぞれ表明している。
- 米国で有罪判決を受けて服役していたファン・オルランド・エルナンデス前ホンジュラス大統領が、トランプ大統領による恩赦により、即時に刑期が終了し、釈放された。
- ２０２５年の米国からの強制送還数がバイデン政権時代に比して減少した。米トランプ政権による移民に対する政策にもかかわらず、２０２５年のホンジュラス人強制送還数は過去よりも少なかった。

<本文>

１ 大統領選挙等総選挙の動向

（１）トランプ米大統領が３度目の投稿

（１１月３０日の大統領選挙等総選挙実施を受けて）１日、トランプ米大統領が自身のＳＮＳ「トゥルース・ソーシャル」でホンジュラス大統領選挙への３度目の投稿を行い、「ホンジュラスが大統領選挙の結果を変更しようとしているようだ。もし実行すれば、大変なことになる。ホンジュラスの国民は１１月３０日に圧倒的な投票率で投票した。投票集計を担当する公的機関である選挙管理委員会は、１１月３０日深夜に突然集計を停止した。」とホンジュラス総選挙の不正を示唆するコメントを出した。

（２）敗北が濃厚となった与党リブレ党の動向

ア １日、モンカダ大統領候補が会見で「今回の選挙は不正によって奪われた。二つの政党(国民党、自由党)は、２６本の録音音声で明らかになっている仕組まれた操作を用い、暫定結果集計システム(TREP)を改ざんして実際より多くの票を得るに至った。選挙の数時間前、トランプ米大統領は、麻薬密売人であるエルナンデス(前大統領)への恩赦を発表し、私を主要な対立候補として公に攻撃した。「ホンジュラスの賢い人々は彼女を拒絶する」と言い、私やリブレ党を共産主義者と呼んで脅した。あれは国民の投票行動を抑圧する明確な介入だった。」など選挙不正や米国の選挙干渉と非難した。

イ 一方、トーレス外務・国際協力省次官もモンカダ候補の会見後、ＳＮＳを投稿したが、「この「認識」とメディアの嘘に満ちた世界では、真実の追及が最も重要である。それが、我々が持つ最も革命的なことである。経済を民主化しなければ貧困は減らせない。最も裕福な人々が税金を払わなければ、国家は貧しい人々のために何もできない。公共財を守らなければ、貧しい人々は何も持つことができない。もし我々が１０家族とその２５経済グループから特権を取り上げ、規制しなければ、この不公平なシステムは引き続き貧困、暴力、移民を生み出し続ける。」など現状に対する批判的メッセージを出したものの、選挙不正などについては言及しなかった。

ウ 8日、リブレ党モンカダ大統領候補の選挙キャンペーン用Xで、7日に行われたリブレ党大会の声明「我々は、アメリカ合衆国大統領ドナルド・トランプによるホンジュラス選挙への干渉と強制を非難する」が出された。その中でトランプ米大統領による外国への干渉と、人民の主権を奪うことによる祖国に対する反逆罪を、国連、米州機構、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）などの場で非難するよう政府に命じることや、選挙の無効などが要求された。

エ 9日、セラヤ・リブレ党党首は、自身のXで「この情報を提供するために、我々のモンカダ候補者に相談した。なぜなら、我々が有する全国の大統領選挙集計用紙の集計によると、大統領に当選するのはナスララ自由党大統領候補だからである。」と発信した。このメッセージにより、セラヤ党首は事実上大統領選挙の敗北を受け入れた。

オ 17日、CNE付近に集まっていたリブレ党及び自由党支持者によって道路封鎖などが発生した。また、リブレ党支持者らによって特別開票のため集散していた国民党支持者に対する暴力行為が発生した。

（３）台湾外交部の国交回復に向けた対話への示唆

3日、台湾の林佳龍外交部長は、ホンジュラスとの外交関係再樹立に前向きであると述べ、ナスララ候補、アスフラ候補と連絡を取っていることを明らかにした上で、「台湾と親しい関係にある2人の大統領候補とは、ともに良好に関係を保ってきた。台湾とホンジュラスが今次選挙後に平等と相互利益に基づく外交関係を樹立できることを望んでいる。」と台北で国会記者団に述べた。

（４）EU選挙監視団による暫定報告書

欧州連合（EU）の選挙監視団（MOE－UE）は総選挙に関する最初の報告を発表し、選挙プロセスが深刻な制度的危機にあったことを示した。記者会見では、総選挙は緊張感が高く、非常に政治的に分極化した環境で実施され、その政治的な対立が選挙管理委員会（CNE）や選挙裁判所（TJE）の機能に影響を与え、また、関係各機関の責任の所在が分散していること、その間の調整能力の不十分さなどがCNE委員による意思決定の遅延を招き、選挙機関の信頼性に影響を与えた、と指摘した。

（５）疑義のある集計用紙の開票開始

ア CNEによると、現在開票されていない集計用紙は115枚のみになったが、これまでの作業で、疑義が生じ、開票されていない集計用紙が2,773枚あり、これら用紙の特別開票（Escrutinio Especial）が11日から開始されると表明された。特別開票は、正規メンバー150人（と予備メンバー50人）が12時間交代の24時間体制で確認作業し、OASやEU監視団などの選挙オブザーバーが開票状況を監視する予定。

イ 一方、検証すべき集計用紙数を巡って国民党と自由党との間で協議が難航していたが、17日夜に、両党の間で合意に達し、特別開票が開始される見込みとなった。17日に自由党は緊急声明を出し、特別開票を行う全代表に対して18日朝7時から集計に立ち合い、法で決められた期間内に選挙管理委員会（CNE）が結果を発表できるよう指示したことを明らかにした。

（６）大統領選挙結果

１ ２月２４日、選挙管理委員会（ＣＮＥ）は、前日の会合を受けてオチャオ委員（リブレ党系）を除く、２委員と委員代行３人の署名による大統領選挙結果を公表し、国民党アスフラ候補の当選を発表した。

（７）ＣＮＥによる大統領選挙結果に対する各候補の反応

ア ２４日、アスフラ次期大統領はＣＮＥからの当選発表を受け、２回のメッセージを出した。ＣＮＥ発表直後のＸを通じた声明では「ＣＮＥの女性２委員と職員らの素晴らしい仕事を認める。私はホンジュラスを統治する準備はできている。国民を裏切らない。」と発信し、その後、クリスマスを祝うを主要メディアに発信する中で、「今日、国民に仕えるという栄誉をもって、そして共に歩むために手を差し伸べたい。ホンジュラスのために懸命に働く決意を再確認した。絶対に失敗させない。」と声明した。

イ 自由党ナスララ候補は、ＣＮＥ当選発表直後に会見し、「ＣＮＥの発表は認めない。特定の候補者を優遇するのではなく、国民の意思が尊重されることを保証することが重要である。すべての票が集計された訳ではなく、得票数が僅差で推移する中で、特別開票の対象が（ＣＮＥが当初開票するとしていた）２，７９３枚から減らされ、そのことで多くの疑義ある集計用紙が除外されている。私は選挙の腐敗・不正の犠牲者である。」と主張した。

ウ リブレ党モンカダ候補は、ＣＮＥの発表直後に自身のＸを通じた声明を出し、その中で「ＣＮＥは、帝国主義者の指示に従い、まだ発展途上にあつた民主主義を殺した。しかし、国民は愚かではない。選出された大統領宣言は詐欺であり、外国による押し付けである。」などと発信した。

（８）各国・機関の反応

ア ２４日、ルビオ米国務長官は自身のＸで、「ホンジュラス人の民意が示された。アスフラ氏がホンジュラスの次期大統領だ。米国は次期大統領にお祝いを申し上げますと共に、西半球における繁栄と安全の促進のために彼の政権と協力していくことを楽しみにしている。」と発信した

イ ラムディンＯＡＳ事務総長は自身のＸで、「ホンジュラスにおけるＯＡＳ選挙監視団の勤勉かつ公平な活動に、深く謝意を申し上げます。また、アスフラ氏の当選に心からお祝いを申し上げます。繰り返すが、我々はホンジュラスの選挙プロセスを全面的に支援すること、そして残りの期間のパートナーシップも強化することに引き続き全力で取り組んでいく。」と発信した。

ウ ＥＵ外務・安全保障政策上級代表は、ホンジュラス国民の投票率の高さを強調し、国内外の多数の監視員が選挙過程に立ち会ったことや、選挙結果を受けてＥＵはホンジュラスの新政権と協力する意向を表明した。

エ サンチェス・スペイン首相は２５日に自身のＸで「アスフラ次期大統領氏にお祝い申し上げます。スペインは両国間の協力を強化し、発展と機会を促進する。」と発信した。

オ 林剣中国外交部報道官は２５日、記者会見で「ホンジュラス国民の決定を尊重する。「一つの中国原則」に基づいてホンジュラスと協力し、二国間関係の継続的な発展を共同で推進する意向がある」と

述べた。

カ 台湾外交部は、25日、野党と保守派の国民党から選ばれたホンジュラス次期大統領に対し、国民の福祉に焦点を当てた政策を実施し、国の持続可能な発展を促進するよう促す旨の声明を出した。

2 外交

（１）エルナンデス前大統領への恩赦とホンジュラス検察による国際指名手配

ア 1日、米国連邦刑務所局（BOP）は公式ウェブサイトで、フアン・オルランド・エルナンデス前ホンジュラス大統領（Juan Orlando Hernandez）の釈放日を2025年12月1日に更新した。麻薬取引に関連する犯罪で有罪判決を受けたため、これまで釈放予定日は2060年と記載されていた。この更新はトランプ大統領による同前大統領恩赦の発言と一致するもので、2022年4月の身柄引き渡しから2024年2月の有罪判決以来服役していたエルナンデスの刑期が即時終了した。

イ リーヴィット（Karoline Leavitt）報道官は、エルナンデス元大統領の有罪判決はバイデン政権によって仕組まれたものであるとのトランプ大統領の見解を再確認し、エルナンデス弁護人には弁護準備にわずか3週間しかなく、証拠は減刑を求める麻薬密売人の証言であることを指摘した。

ウ 8日、これに対してセラヤ（Johel Zelaya）検事総長は、自身のXで「我々は、社会生活に深い影響を及ぼした犯罪ネットワークと汚職によって傷つけられてきた。だからこそ、12月9日の国際汚職防止デーに、私はA T I C（刑事捜査技術局）に指示を出したこと、さらに国家の治安関連機関やインターポールなどの国際的な協力機構に対し、エルナンデスに対する国際逮捕状の実行を要請する。」と発信した。

（２）トランプ政権後の強制送還数の減少

16日付国内紙は、米国からの強制送還数がバイデン政権時代に比して、2025年は減少している旨報じた。これによると、米トランプ政権による移民に対する政策にもかかわらず、2025年は過去よりも少ないホンジュラス人強制送還数であった。移民局（I N M）のデータによると、2025年は、12月11日までに強制送還されたホンジュラス人の総数が32,427人であった。この数は、2022年の42,215人、2023年の36,711人と比べて減少を示している。

<主要経済指標>

◇主要経済指標	2024 年	2025 年		
		9 月	1 0 月	1 1 月
インフレ率（前年同月比）	3. 9	4. 55	4. 85	5. 09
貿易収支（百万ドル）	▲6, 671. 4	—	—	—
輸出（百万ドル）	11, 082. 5	—	—	—
輸入（百万ドル）	17, 753. 9	—	—	—
外貨準備高（百万ドル）	8, 049. 0	9, 696. 3	9, 739. 8	9, 703. 3
外国からの送金（百万ドル）	9, 510. 2	—	—	—
為替レート（対ドル月平均）	25. 42	26. 21	26. 34	26. 41

（出典：ホンジュラス中央銀行）

（了）